

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

高知市久礼野地区の「ひだまりの丘」で里山整備！

2月24日(月・振休)、鏡川上流域にあたる、高知市久重地域の久礼野地区の里山にて、植樹活動を行いました！

この植樹は、「24時間テレビ 環境保護活動支援事業」の一環として実施したものです(主催：株式会社高知放送 共催：高知市新エネルギー・環境政策課)。

当日は、地元の久重小学校の児童や保護者、久重地域の里山保全活動に取り組む久重 natural チームのメンバーを中心に、約50名が参加しました。植樹場所は、久礼野公民館の北東に位置する小高い丘で、久重 natural チームの皆さんが「ひだまりの丘」という愛称を付け、日頃から里山整備に取り組んでいます。



開催の2か月ほど前から、主催者の高知放送様と、久重地域で里山保全に取り組む地域の方々との打ち合わせをし、植樹場所や苗木の本数などを検討してきました！



久重地域連携協議会里山部会の橋詰辰男さん、杉本一幸さん、久重 natural チームのサポート役である武林由希子さんに現地を案内していただきました。



高知市里山保全審議会委員も務めていただいている橋詰さんは、日頃から久重地域の里山に関わり、豊かな自然環境を活用しながら過ごされています。手作りの薪ストーブやログハウスも素敵です！

当日は、まず、武林さんをはじめ、地域の方から、苗木の植え方の説明がありました！



親子で協力しながら、イロハモミジやクヌギなどを植えていきます。



参加者の皆さんが積極的に土を掘り、苗木を植えたおかげで、予定よりも早くすべての苗木を植えることができました！



植樹の様子は、夕方のニュース「こうち eye」で放送されました！多くの方々に、久重地域での里山整備の取組を知っていただきたいです。



久礼野地区は、鏡川上流域に位置しており、鏡川清流保全条例の景観形成区域候補地でもあります。今回のように、地域住民主体の里山整備活動と一緒に取り組みながら、里山の公益的機能を「生かす」取組を推進していきたいです。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android